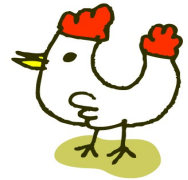


バリ通信



2307号

バリ通信は
過去に

(有)FORZA
愛媛日産自動車(株) 勤務時代
公益社団法人 今治青年会議所
今治商工会議所青年部

を通じて面識のある大切な方にお送りしております。

いま話題の生成AI・チャットGPTを試してみた！

ウィキペディアによると生成AIとは『生成的人工知能(せいせい)てきじんこうちのう、(generative artificial intelligence) または生成AIは、プロンプトに応答してテキスト、画像、または他のメディアを生成することができる人工知能システムの種類である。ジェネレーティブAI、ジェネラティブIとも呼ばれる。』と書かれてあります。

ほほう、そういう事が、なる程・・・すんません、本当は何言ってるか分かりません(笑)ですが、まあ要するに人間が態々介入しなくても、AIが自動で仕事をしてくれるって事で話題なんです。身近なところではパソコンやスマホで買い物をするば、AIが『関連するお勧め商品』を紹介してきて、その買い物サイトを離れて別のサイトを見ている、さっき見ていたショッピングサイトの広告が出てきたりしますよね、私の場合はやたらとサッカーと車関係の広告が出てきますし、スマホのGPS機能で家と会社はスマホに認知されていますから、仕事内容や趣味嗜好はグーグルのAIに丸裸にされていると思います(笑)

そこで、生成AIで話題沸騰中の+chat+gptを早速触ってみました、『今治市の有限会社FORZAについて教えて』と質問してみても、驚愕の答えが返って来ました！『今治市にある有限会社FORZAは、スポーツ用品の卸売りを主な事業としています。具体的には、サッカーや野球、バレーボールなどの

スポーツ用品を扱っています。また、オリジナルブランドのスポーツウェアやグッズの企画・製造・販売も手掛けています。会社名の「FORZA」はイタリア語の「力」という意味があり、同社は「スポーツにおける力強さや強さを表現したい」という思いでこの名前を採用したとされています。創業は1994年で、現在は今治市を拠点に事業を展開しています。FORZAは長年にわたってスポーツ界で培ったノウハウや経験を活かし、高品質な商品を提供する事で多くのお客様から信頼を得ています・・・嘘でしょ？何の情報をも引張ってきたら車の買取りと販売を商いとする会社がスポーツ用品の企画・製造・販売を手掛ける会社になってんねん！しかも創業は2000年やのに1994年と6年も早くなってるし、そこで『有限会社FORZAは車の買取りや販売を行っている会社で、ホームページはこれですよ』と訂正を促しました、すると『大変申し訳ありません、誤った情報をお伝えしてしまいました、以下色々・・・』となったので、学習してくれているのかと思いきや、この事をフェイスブックに上げた投稿を読んでもくれた方が同じ事を質問したところ、『創業者は山田義勇さんという人で、1970年代から自転車競技に情熱を注ぎ、その経験を生かして自転車のウェアやアクセサリーをFORZAブランドとして製造販売しています』

と更新！怖い怖い！嘘ばかりやん・・・山田義男っていったい誰やねん！？（笑）、山田義男でグーグル検索してもFORZAという会社を経営している訳でもなく、自転車競技をしている人という人の情報も何も出てこない・・・虚言なのか妄想なのか・・・怖すぎる。。。

3週間後、もう一度同じ質問をしてみました。

『今治市の有限会社FORZAについて教えて』と、すると『申し訳ありませんが、私の知識は2021年9月までの情報しか持っておらず、FORZAという名前の有限会社についての具体的な情報を提供することはできません。また、特定の企業に関する情報は頻繁に変わることがありますので、最新の情報を入手するためには公式ウェブサイトや地域のビジネスディレクトリを参照することをおすすめします。FORZAという名前の有限会社が存在する場合、一般的にはその会社のウェブサイトや公式文書、地元のビジネスリストなどで詳細な情報を見つけることができます。会社の業種、設立年、事業内容、所在地などが記載されている場合があります。また、情報提供のためには、会社の背後にある具体的な情報（例：業績、創業者、経営理念など）を提供していただくと、より具体的な回答をすることができますかもしれません。』という答えが返ってきましたねえ、創業や理念、代表者はホームページに記載もあるしので、少しは情報あるでしょうにと思うのですが、、、

実はオードリーの『オールナイトニッポン』というラジオ番組で、オードリーの若林が『お笑い芸人のオードリーについて教えて』と質問したところ、トンチンカンな答えが返ってきたという話を聞いて、ウチの社名でも質問したのですが、流石にオードリーの情報は色々な人が訂正を促したのか、ちゃんと修正されていました。現在は多くは語らず、公式ホームページ等を見るように書いていました、間違いを指摘されまくってAIも反省したのかも（笑）

ちなみに『車の買取りや販売を商いとする会社が、

お客様に 送るニュースレター（バリ通信）の記事を書いてください』と打ち込んでみましたが、冒頭や最後の挨拶は当たり障りなく書いてありますが、基本的には文章自体は書かず、『お勧めの地域グルメ』など、タイトルは書き出すけど内容までは考えてはくれませんでした、『その程度の内容なら地域情報誌を読んだ方が良い』と辛らつな返事をしてみたところ、『大変申し訳ありません。』と書いた後に最初と似たような答えが返ってきましたねえ。まあ無料版なので、流石に具体的な内容の文章は作れないようですし、そもそも情報を調べるだけなら、AIに聞くよりもネット検索の方が間違いなさそうです。

簡単な挨拶文は得意みたいな事を報道番組で見たので、過去に小学校のPTA会長をしたことがあるので、試しにPTA会長の卒業式での挨拶文を考えて、と質問したところ、ものの数秒で、どこかで聞いた事のある様な流暢な挨拶文を作ってくれましたねえ、有料版がどのようなものか知りませんが、使う側の良く使う文言や思想などをAIが学習していけば、本当にその人が書いたかのような文章を書いてくれるのかもしれないね。3年くらい前に手塚治虫さんの漫画を学習させたAIが考えたストーリーに手塚治虫ふうに描けるクリエイターが絵を描いた作品がありました。したが、ストーリーは確かに手塚治虫作品に見えましたね。

まあでも2カ月に1回のニュースレターなので、なんとかAIには頼らず自分で考えていこうと思います。そもそもAIが『唐揚げにレモンをかける？かけない？論争』とか、変わった知人のエピソードを紹介してくれる訳がないですからね（笑）あと大喜利のお題も出しましたが、答えは全然面白くなかったです！